

コスモエネルギーグループ

持株会社始動

2015年10月、コスモエネルギーグループは、
持株会社「コスモエネルギーホールディングス」ならびに
石油開発会社、石油精製・石油化学会社、石油販売会社の
3つの事業会社を中心とした持株会社体制に生まれ変わりました。

コスモエネルギーグループは、第5次連結中期経営計画において、石油精製事業を中心とした徹底的な合理化・効率化や石油開発・リテール・風力発電を成長ドライバーとした経営資源のシフトに取り組み、事業ポートフォリオの強化をめざしています。そのような中、事業単位での競争力強化を図り今後も持続的な成長を遂げるため、持株会社体制へと移行しました。石油開発、石油精製・石油化学、石油販売の中核3事業会社体制とし、各事業群の競争力を高めて企業価値向上をめざします。

持株会社体制移行

3つの狙い

1

安定配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重点課題と位置づけています。持株会社体制への転換を機に事業会社の収益力を高め、成長事業への投資や財務体質の改善も考慮しながら、安定的な配当をめざしていきます。

2

迅速な意思決定

事業環境の変化に対し機動的に業務執行を果たすことができるよう、これまで以上に事業会社に権限と責任を委譲します。各事業会社がスピード感を持って意思決定を行っていくことで、事業競争力の強化と持株会社の収益安定化をめざしていきます。

持株会社体制

— 持株会社ならびに石油開発、石油精製・石油化学、石油販売の3つの事業会社を中心とした体制 —

コスモエネルギーホールディングス

コスモエネルギー開発

石油開発・生産

原油生産量（開発3社）（注1）

約4万バレル／日
精製能力比 約9%

原油開発・生産エリア

アラブ首長国連邦・アブダビ首長国
カタール国

主な関係会社

アブダビ石油
カタール石油開発
合同石油開発

コスモ石油

石油精製・石油化学

主な原油輸入国

アラブ首長国連邦・アブダビ首長国
サウジアラビア王国
カタール国

石油精製能力（注2）

45.2万バレル／日
国内シェア 約11.5%

パラキシレン生産能力（注2）

118万トン／年

主な関係会社

コスモ石油ルブリカンツ
コスモ松山石油
CMアロマ
Hyundai Cosmo Petrochemical
京葉精製共同事業

コスモ石油マーケティング

石油製品販売、リテール事業等

国内販売シェア（注2）

約12%
（ガソリン、軽油、灯油、A重油）

国内SS数（注2）

サービスステーション（SS）数
3,054カ所

個人向けカーリース事業（注2）

累計 27,401台

主な関係会社

コスモ石油販売
総合エネルギー

関係会社群

風力発電能力

18.4kW
国内シェア 6%

エチレン生産能力

129.3万トン／年
国内シェア 約18%

主な関係会社

エコ・パワー
丸善石油化学
コスモエンジニアリング
コスモトレードアンドサービス
コスモALA
ジクシス

（注1）2015年1月～12月実績
（注2）2016年3月末時点

3

戦略的な アライアンス推進

事業ごとの組織体制となったことで意思決定のスピードが早くなり、めまぐるしい経営環境の変化に適應できる体制となりました。事業ごと、地域ごとに他社との戦略的な事業提携や共同事業を積極的に推進し、新たな価値を生み出していきます。



攻めのガバナンス

取締役の人数

8名

取締役

+

2名

社外取締役

→

6名

取締役

+

4名

社外取締役

持株会社化前
（2015年9月30日以前）

持株会社化後
（2015年10月1日以降）

当社は、過半数の独立社外取締役で構成される監査等委員会を持つ監査等委員会設置会社です。社外の視点を積極的に経営に取り入れることで、企業価値向上を実現します。